トレードセンター前駅 60分コース

Osaka Metro まちさんぽ

ニュートラム トレードセンター前駅

南港の中心街

大阪一望！ 見渡せば360度大パノラマ

このあたりは咲洲の中心繁華街を形成して、海辺でのレストラン、カフェやショッピング、コスモタワーからの360度パノラマ展望、臨港緑地での野鳥観察、大阪港の波の上の遠望など、多様な景観を楽しめます。

スタート駅 → 約60分 → ゴール駅

スタート駅：ニュートラム トレードセンター前駅 ①号出口

1 （大阪府咲洲庁舎展望台）さきしまコスモタワー展望台

2 （ATC）トレードセンター アジア太平洋

3 ターミナル さんふらわあ

4 野鳥園臨港緑地

5 古代船なみはや

6 （コスモスクエア海浜緑地）シーサイドコスモ

ゴール駅：コスモスクエア駅 ニュートラム 中央線

大阪市は南港における貿易拠点としてアジア太平洋トレードセンター（ATC）を建設しました。施設全体が保税地域の許可を受け、関税のかからない輸入商品の展示・販売や商談を企図していたのですが、現在のATCは保税地域の枠を外して海辺の大型複合施設として機能しています。

トレードセンター前駅 60分コース

Osaka Metro まちさんぽ

ニュートラム トレードセンター前駅

南港の中心街

大阪一望！ 見渡せば360度大パノラマ

このあたりは咲洲の中心繁華街を形成して、海辺でのレストラン、カフェやショッピング、コスモタワーからの360度パノラマ展望、臨海緑地での野鳥観察、大阪港の波の上の遠望など、多様な景観を楽しめます。

スタート駅 ▸▸▸▸▸ 約 60 分 ▸▸▸▸▸ ゴール駅

ニュートラム トレードセンター前駅①号出口 ― 中央線・ニュートラム コスモスクエア駅

1 さきしまコスモタワー展望台（大阪府咲洲庁舎展望台）

愛称・さきしまコスモタワーは、かつて大阪ワールドトレードセンタービルディング（WTC）、現在は大阪府咲洲庁舎が正式名称です。最上階の55階にカフェなどが併設された有料の展望台があります。地上252m、大阪市内ではあべのハルカスの60階展望台（300m）に次ぎ、大阪中心部の高層ビルや神戸、阪神間の街並み、足元の万博会場跡の夢洲、ユニバーサル・スタジオ、海遊館や天保山の観覧車、赤い港大橋、木津川や大和川の河口部も、よく晴れた日には大阪湾の全貌、遥かに六甲山、淡路島、明石海峡大橋、南には関西国際空港から金剛山、ぐるっと360度、壮大な眺望が広がります。定休日は月曜（祝日の場合は翌日）で入場は21:30まで。入場料は大人1,200円、小・中学生は600円です。

2 アジア太平洋トレードセンター（ATC）

通称「大阪南港ATC」と呼ばれるこの施設は、O's（オズ）棟とITM棟からなっています。O'sには、海が見えるロケーションに約70店舗が軒を並べ、食事やショッピングなどが楽しめます。ITMは、インテリア、住宅機器などのショールーム、オフィスが並び、10階には大阪湾を一望する南港サンセットホールがあり、最上階の12階には展示会などが催されるITMホールがあります。大阪湾に面した海と緑のウミエール広場など大阪港の拠点施設として多くの来訪者を迎えます。

3 さんふらわあターミナル

ATCのITM棟2階から、九州の別府（大分）と志布志（鹿児島）へ向かうフェリー「さんふらわあ」の乗り場・さんふらわあターミナルに直結しています。「さんふらわあ」は大分・鹿児島行ともに夕刻にATCを出発して翌朝に到着する一夜の豪華な瀬戸内海クルーズです。ウミエール広場の外階段を降りると間近に見物できます。

4 野鳥園臨港緑地

昭和58年（1983）に、大阪湾岸一帯に生息する水鳥を中心とした野鳥を保護する目的で、日本で最初の人工干潟として造成されました。湿地と緑地があり、総面積は19haに及びます。このあたりは古代から豊かな自然に恵まれ、年間約150種類の野鳥が訪れます。シギやチドリ、カモ類が渡来して餌を採る日本でも有数の渡り鳥の来訪地として知られ、春はシベリアへ、秋はオーストラリアへ長距離移動をする途中にこの野鳥園に立ち寄ります。展望塔では野鳥観察を趣味にする多くの人々が望遠カメラを構えてバードウォッチングを楽しんでいます。

5 古代船なみはや

古代船「なみはや」は、平野長原遺跡高廻り2号墳出土の船型埴輪をモデルにして復元され、丸木舟を船底とした準構造船です。中国の『宋書』に登場する5世紀「倭の五王」時代の航海を再現しようと、この船で大阪港から韓国釜山への実験航海にも使用されました。古代には飛鳥や平城京から大陸や半島へこの海辺から出帆したのです。

6 シーサイドコスモ（コスモスクエア海浜緑地）

ここからは大阪湾の波の上に雄大な景色が遠望できます。対岸の港区・天保山には斜張橋の天保山大橋や観覧車、海遊館が見えます。金色の帽子を被った白と青の2本の塔は大阪市環境局の舞洲工場とスラッジセンター（下水汚泥処理場）の煙突です。クレーンの向こうに見える白いアーチ橋は北港の舞洲と万博会場となった夢洲を結ぶ夢舞大橋、東方には巨大な赤い橋梁の港大橋が見えます。眼前の海が大阪港の主要水路で、西方の港口では赤い灯台と白い灯台が次々に通過する船舶を迎えます。ここは太古の住吉浦（すみのえ）にあたり、遠くに六甲の山影を望む歌枕（うたまくら）（歌に詠まれる名所）で、「住の江の岸による浪よるさへや 夢の通ひ路人目よくらむ」（『古今集』藤原敏行朝臣）ほか多くの和歌に詠まれてきました。戦国時代には信長の鉄甲船と毛利水軍が激突し（木津川口の戦い）、江戸時代には天保山沖が「出船千艘、入船千艘」といわれるほど多くの廻船で賑わいました。

文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。
なお、掲載している情報は2025年12月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro
協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会　（お問い合わせ先）大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp
後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

https://www.osaka-asobo.jp または 大阪あそ歩 で検索

ご注意
※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内
※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

Osaka Metro × 大阪あそ歩 × 歴史街道　毎月第１金曜日発行

駅スタンプ押印欄

制作：大阪あそ歩委員会・茶谷幸治　編集：伏見佳子　デザイン：たばるかつこ　イラスト：櫻井さなえ